

平成 27 年度 東京都内湾水生生物調査 5 月鳥類調査 速報

●実施状況

平成 27 年 5 月 19 日に鳥類調査を実施した。天気は曇、気温 20.0~24.0℃、南~南西、風速 2.8~3.6m であった。当日は大潮で、潮位は 11 時 39 分 干潮(1cm)、18 時 17 分 満潮(192cm)であった(気象庁東京検潮所)。各地点の状況を下表に示す。

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
作業時刻	12:45-14:00	9:05-10:10	10:52-11:30
天候	曇	曇	曇
気温(℃)	23.2	20.0	24.0
風向	南	南西	南西
風速(m)	2.8	3.2	3.6
備考	干潟が広く干出し、水溜りが多くできていた。ヨシ原でオオヨシキリが多数さえずっていた。	鳥の島の樹木が伐採され、桜の若木が植栽された。外側にカワウの営巣木は残されている。日当たりが良くなり、草が覆い茂っていた。	干潟が広く干出ししていた。京浜島の護岸工事が終わり、石積みの護岸となった。

●主な出現種等

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
数が多かった鳥類上位2種	カワウ(171羽) ミヤコドリ(33羽)	カワウ(622羽) キョウジョシギ(50羽)	コアジサシ(224羽) カワウ(155羽)
その他の鳥類	カルガモ、カンムリカイツブリ、アマサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、バン、ダイゼン、シロチドリ、チュウシャクシギ、アオアシシギ、キアシシギ、イソシギ、キョウジョシギ、トウネン、ハマシギ、ウミネコ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、コアジサシ、アジサシ、ハクセキレイ	カルガモ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、シロチドリ、キアシシギ、イソシギ、コアジサシ、ハクセキレイ	カルガモ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、コチドリ、シロチドリ、チュウシャクシギ、キアシシギ、イソシギ、キョウジョシギ、ウミネコ
備考	・汀線際では、カワウやカモメ類が休息。 ・汀線際や干潟では、コアジサシ、サギ類、ミヤコドリ、キアシシギ、トウネン、ハマシギなどのシギ・チドリ類が採餌。 ・重要種として、15種を確認(カンムリカイツブリ、バン、ダイゼン、シロチドリ、チュウシャクシギ、アオアシシギ、キアシシギ、トウネン、ハマシギ等)。	・第六台場ではカワウ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギが樹上で繁殖。雛や幼鳥を確認。 ・鳥の島の樹木が伐採され、桜が植栽された。カワウは営巣しているが、サギ類の営巣は確認できなかった。 ・磯、護岸でキョウジョシギ、キアシシギが採餌。 ・重要種として、7種を確認(ダイサギ、コサギ、キアシシギ、キョウジョシギ等)。	・干潟でカワウ、カモメ類が休息。サギ類、シギ・チドリ類が採餌。 ・干潟周辺の海面でカワウ、コアジサシが集団で採餌。 ・周辺の護岸ではコサギ、コチドリ、チュウシャクシギ、キョウジョシギなどが採餌。 ・重要種として、9種を確認(コチドリ、シロチドリ、チュウシャクシギ、イソシギ、コアジサシ等)。

●出現種と個体数

No.	目	科	種名	5月					重要種 選定基準				
				葛西人工渚	お台場海浜公園			森ヶ崎の鼻	文化財 保護法	種の 保存法	環境省 RL 2012 鳥類	東京都 RL 2010 (区)	
					第六 台場	鳥 の 島	公 園 側						合計
1	カモ	カモ	カルガモ	6	5	7	3	15	5				
			カルガモ雑種 ^B			4		4					
2	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	4									留
3	カツオドリ	ウ	カワウ	171	338	262	22	622	155				
4	ペリカン	サギ	ゴイサギ		8			8					
5			アマサギ	1									
6			アオサギ	4	21	9		30	10				
7			ダイサギ	10	7			7	3				VU
8			コサギ	11	17			17	10				VU
9	ツル	クイナ	バン	1									VU
10	チドリ	チドリ	ダイゼン	1									VU
11			コチドリ						2				VU
12			シロチドリ	4	2			2	9			VU	VU
13		ミヤコドリ	ミヤコドリ	33									EN
14		シギ	チュウシャクシギ	3					2				VU
15			アオアシシギ	1									NT
16			キアシシギ	16	2	5	14	21	3				VU
17			イソシギ	1	1	1		2	2				VU
18			キョウジョシギ	1	33	10	7	50	30				VU
19			トウネン	16									NT
20			ハマシギ	16								NT	NT
21		カモメ	ウミネコ	10					5				
22			セグロカモメ	6									
23			オオセグロカモメ	1									
			大型カモメ ^A	2					1				
24			コアジサシ	22			3	3	224		国際	VU	EN
25			アジサシ	1									
26	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ	2			2	2					
計7目10科26種				24種 ^A	10種	6種 ^B	6種	12種	13種 ^A	0種	1種	3種	16種

※種の分類・配列は「日本鳥類目録 改訂第7版」(日本鳥学会,2012)に従った。

A: 大型カモメに分類されるセグロカモメ、オオセグロカモメが確認されているので「大型カモメ」は確認種数に数えない。

B: カルガモとマガモの雑種と思われる個体。両種の特徴を持つ。確認種数には数えない。

*1文化財保護法:

*2種の保存法: 国際: 国際希少野生動植物

*3環境省レッドリスト: VU: 絶滅危惧Ⅱ類、NT: 準絶滅危惧

参照: http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb_f.html

環境省自然環境局野生生物課. 2012年. 環境省第4次レッドリスト.

*4東京都レッドリスト2010: EN: 絶滅危惧ⅠB類、VU: 絶滅危惧Ⅱ類、NT: 準絶滅危惧、留: 留意種

東京都環境局自然環境部. 2010年. 東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)~東京都レッドリスト~ 2010年版.

<葛西人工渚>

○調査地点の状況

干潟が広く干出し、水たまりが多かった。



○出現種(ミヤコドリ)

汀線際でサギ類と共に採餌する。東京都レッドリスト(2010)では絶滅危惧IBに指定されている。大きな嘴で二枚貝をこじ開けて食べる。



○出現種(ハマシギ)

干潟で、キアシシギ、トウネン、シロチドリなどと共に採餌する。環境省レッドリスト(2012)、東京都レッドリスト(2010)では準絶滅危惧に指定されている。夏羽になると腹部の黒斑が目立つ。



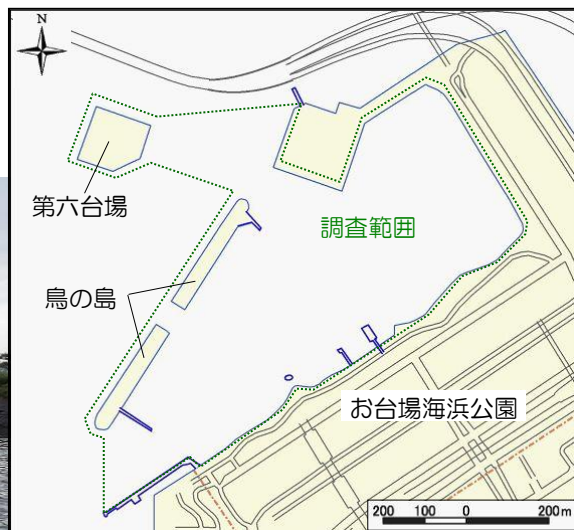
○出現種(アマサギ)

カワウの群れに混じり干潟で休息する。繁殖期には頭、胸、背中の羽毛が薄いオレンジ色(亜麻色)に変わる。水田や草地でカエルを主に餌にする。干潟では少ない。

<お台場海浜公園>

○調査地点の状況

鳥の島の樹木(お台場海浜公園側)が伐採され、桜が植栽された。カワウの営巣木は残されている。



カワウの親子

○出現種(カワウの親子 左:雛 右:親鳥)
第六台場、鳥の島の樹上にカワウの巣が多数確認された。雛の姿や鳴き声、幼鳥が確認された。

○出現種(アオサギの雛)

第六台場でアオサギ、ダイサギ、コサギ、ゴイサギの繁殖が確認された。桜が植栽された鳥の島では、サギ類の営巣は確認されなかった。



アオサギの雛



キアシシギ

キョウジョシギ

○出現種(キアシシギ、キョウジョシギ)
磯、護岸で甲殻類、ゴガイなどを採餌する。東京都レッドリスト(2010)では絶滅危惧 II 類に指定されている。

<森ヶ崎の鼻>

○調査地点の状況

干潟が広く干出していた。



○出現種(コアジサシ)

干潟で休息、干潟周辺の浅場で採餌する。森ヶ崎水再生センター屋上、コアジサシの人工営巣地では、コアジサシの巣が186巣、300羽以上の飛来が確認されている。(http://d.hatena.ne.jp/littletern/20150519) ここで営巣するコアジサシが干潟を利用していると思われる。



コアジサシ(飛翔)



コアジサシ(休息)



チュウシャクシギ

○出現種(チュウシャクシギ、コチドリ)

干潟の周辺の護岸で、節足動物などを採餌する。東京都レッドリスト(2010)では絶滅危惧 II 類に指定されている。コチドリは森ヶ崎水再生センター屋上、コアジサシの人工営巣地で営巣が確認されている。(http://d.hatena.ne.jp/littletern/20150516)



コチドリ